

中央研修会

日時●令和4年6月14日(火) 会場●京都テルサ

コロナ禍のため参加者を約50名に制限して、研修会を実施しました。子育て環境日本一に向け職場づくりを進めておられる企業から、京都府の未来に夢と希望がもてる「子育てに優しい京都」を目指して学びを深めました。

講演

演題 「地球と人類に貢献 家庭が一番 仕事はその次」

講師 二九精密機械工業株式会社

代表取締役社長 二九良三様

培った仕事を
定年後に活かす

1987年、齒科技工士を経て実家の家業を継がれ、2009



年現職となられた二九社長。その時の奥様の一言は「この会社を今のままで継ぐならやめた方がよい」。

「今の会社に何が足りない？ 人で会社は良くも悪くもなる。やっぱり会社は人で決まる」と

気が付き、2014年頃より大会社を定年退職した設計者、研究者を採用し、開発部門を作られました。それから会社に変化が

起こったそうです。仕事はやらせるのではなく、自分で見つけて

していただけと、やりがいを感じて効率が上がっていききました。

人を活かす人材育成
情報共有のために同じ仕事を二人以上ができる環境を整え、



同じスキルを持つ人を複数育成できるような配置転換し、仕事を覚えるという流れを作りました。

健康診断後の再検査・精密検査受診率は、2015年から100%となり、その後の健康管理も徹底して行いました。

家庭が一番！

仕事はその次！

「従業員に幸せになって欲しい」という社長の想いから家庭を大切に作る制度を作りました。

出産・育児・介護などで、仕事をやめるのは会社にとって大きな損失かつ本人のキャリアも消えてしまう。休みをとっても安心して楽しく働ける会社のように、子どもが小学校卒業ま

まで安心して働ける会社を目指しています。



講演後の意見交換でも、感想や意見が活発に出された有意義な研修会となりました。

講評

杉本俊恵
総括社会教育指導主事

昭和46年度の婦人会の活動方針の目標に「命と暮らしとふるさとを婦人会の手で守ろう」、サブテーマに「社会の中で自分たちの力を活かし意欲と行動をもって地域を住みよくなるための行動をすすめるよう」とありました。この精神は、組織の形、人が変わっても大切にすることとして根底の心はゆるむことなく本日の趣旨に繋がっているのだと感じました。

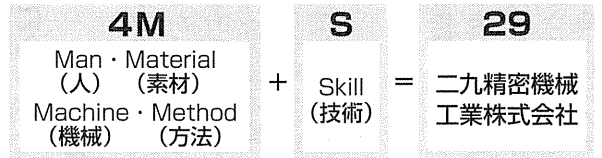
その思いが二九社長のものづくり、人づくり、人を大切にすることに共感し、やる気を持たせることが大事であり、やりがいを持たせるような取り組みをすることへと繋がります。これからのみなさんの活動に新たな使途を与えてもらえたのではないのでしょうか。

さらに、これからの地域活動に今日の学びを活かし、地域・家庭・学校を巻き込んだ広がりのある活動へと取り組んでいられるであろうと想像し、期待しています。

4M+S=29に込められた
講演者 二九社長の想いと会員の受け止め

中央研修会講演会の「感想」と「会員の想い」

4M+S=29とは…？



会社の理念として人を一番に挙げられている二九社長の講演を聞かせていただいた会員の感想とアンケートの報告です。紙面の都合で順不同で、割愛させていただいたの掲載となりますこと、ご了承ください。

★奥様の一言

実績も上がってきていると話され、若かったらこんな会社で働きたいなと思いました。
嫁さんの言葉「社員の奥さんの出産の時は仕事させないでや。病院へ行って手を握ってあげて」と。命の大切さ、女性への思いやりは聞いていても、とても嬉しかった。一言で感動しました。淡々と話される中で「人間って変わるんやな」とおっしゃったのにまた感動いたしました。

★女性活躍

平均年齢36歳の従業員260名その内60名が女性で20代が多く、「家庭が一番」、子どもが小学校を卒業するまで短時間勤務利用可能産休・育休制度もしっかり確立している。それが、女性の活躍を後押しして、女性の力を活かすことの利点を心得て居られる会社は今後益々発展するんでしょうね。日本企業の見本になるような経営方針を聞かせていただきました。

★定年後のスキルを活かす

大手企業を定年退職された方の技術を見事に活かされ、奥様の助言も方々で活かされていて、更に働きやすい会社になっている。また、入社式100名ハワイで！3泊5日小遣いもあり。これを聞いた途端、私たちが住む田舎では遠い夢の話だと思いました。

★活動にも活かせる講演

二九社長様が信念に基づき会社成長のため実践された事柄をお聞きし、基本である「人」を活かすことで互いに高めあうことの大切さを教えられた。代表取締役二九様の飾らないお人柄、優しい口調に引き込まれ、地域の活動、婦人会活動と重ね合わせながらお聞きしました。

★仕事より家庭が一番

「仕事より家庭が一番」「仕事をする人の代わりはいるが、家族の代わりはいない」と楽しく冗談も交えながら話された。優秀な人材が辞めなくてよいようになり、会社としての

アンケート

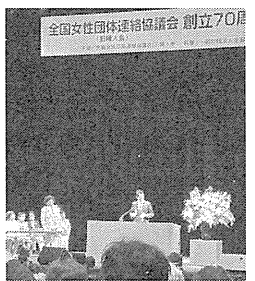
中央研修会の講演会のアンケートでは85%の方が良かったと答えていただきました。いただいたご意見の代表的なものです。

- ▼人を大切に従業員を大切にすることを社だと思ふ。
- ▼女性が働きやすい。子供が小学校卒業まで短時間勤務が可能というのが良い。
- ▼会社の健康診断心打たれた。人を大切にすること。そういう会社が増えると日本も良くなる。
- ▼人は財産、健康は財産と考え思いやりの気持ち、温かい会社、地域にも繋がると思ふ。
- ▼一番は人材育成であるということ、女性の会にも通じると思ふ。
- ▼大切なことだ。
- ▼やりがいを持った人がやれる会社。こんな企業が増えたらと感じた。
- ▼今後に活かす方法をもう少しワークショップで出来たら良かった。
- ▼これまでは前例に沿って活動していたが、これからは新しいことを考えて活動したい。
- ▼女性に優しく働きやすさで全て幸福になる。
- ▼心に余裕が出来て地域の社会的資源となり、人と人のつながりが強まると思ふ。

全国女性団体連絡協議会 創立70周年記念大会

日時●令和4年4月26日(火)
会場●ラインキューブ渋谷
(渋谷公会堂)

全国地域婦人連絡協議会(全地婦連)改め全国女性団体連絡協議会(全女会)の70周年記念大会は2,000人近く収容できるラインキューブ渋谷で2回に分けての大会でした。



記念講演Ⅰ 筑波大学 学長 永田恭介様

生涯学習はSDGsの目標達成のためにも重要であり、生涯学び続けることは心の豊かさや生きがいの発見に繋がる、とても大切なことだと話され婦人会活動を続ける元気をいただきました。

記念講演Ⅱ 株式会社CYBERDYNE(サイバーダイン) 社長 山海嘉之様

「人を置き去りにして 走り続ける 科学技術」ではなく、「人に寄り添い 人と共生する 科学技術」のお話をされました。